

がん教育実施報告書

学校名	会津美里町立高田中学校		
実施対象者 (学年・保護者など)	第2学年 全クラス (計2学級)		
教育課程の位置づけ	体育・保健体育	道徳	学級活動・HR活動 講演会・行事 その他 ()
実施日時	令和4年11月7日(月) 13:30~14:15 (短縮時程)		
打合せについて	【1回目】方法:電話 内容:事前打合せの日時、テーマについて		
	【2回目】方法:来校 内容:授業案、配慮事項について		
外部講師 職・氏名	職名	がんピアネットふくしま 理事	氏名 大内 直美
実施内容	<p>【めあて】 がん患者やその家族の思いに共感し、支え合って生きていくことの大切さを理解するとともにかけがえのない自他の生命を尊重することができるようにする。 <D-(19)生命の尊さ></p> <p>【指導の流れ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 保健体育科の学習内容の振り返り (T1) <ul style="list-style-type: none"> キーワードとなる言葉を用いて病気の概要を確認した。 がんになるとどのような問題が起こるのか (T1) <ul style="list-style-type: none"> 痛みや外見上の変化、医療費、家族の世話、心のつらさなどに思いを馳せることができた。 がんの治療に必要な支援とその考え方、がん患者との共生に必要なこと (GT) <ul style="list-style-type: none"> 心のケアやソーシャルサポートの大切さ、現在のピアサポーターとしての活動などについて、体験談を聞くことができた。 がん患者と共生するために大切なことや自分にできること (T1) <ul style="list-style-type: none"> 寄り添う姿勢の大切さに気付くことができた。 		
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ○ がんサバイバーの体験談から、がんを身近な病気としてとらえたり、がん患者との共生について理解を深めたりすることができた。 ○ 生徒からは、「その人の話を聞いて共感することが大切だと思った。」「とてもつらい思いをたくさんしてきたのに、自分にできることを考えて、ピアサポーターの活動をしているのがすごいと思った。」「がんになっても、病気と一緒にやっていけるような人になりたい。」などの感想があった。 ○ 保健体育科で病気を理解する学習をした後に本時を設定したことで、学習内容を深めることができた。 ○ 講師とは、電子メールでも連絡を取り合って十分に事前打合せを行ったので、双方が不安なく当日を迎えることができた。 		



どのような問題が起こるか考えをシェア



体験談を話す講師